

路線バスに関する 要望及び回答

平成24年2月18日開催の交通委員会でのバス事業者との意見交換において回答
【対象事業者】
京成バス(株)、千葉海浜交通(株)=京成グループ
平和交通(株)、あすか交通(株)=ビートランセグループ

分類	視点	要望	回答
ハード面	車両	<p>①引き続き、燃料電池バス、電気バス、ハイブリッドバス等の環境配慮型の車両及びノンステップバス等の福祉対応型の車両の導入、増備に努めること。</p> <p>②マリルートに関し、車内に内回り・外回りの別を表示をすること。</p>	<p>①ノンステップバスは、京成、ビートランセ両グループとも導入済み。ハイブリッドバスについては、京成バスは近日中に全車導入完了、平和交通も順次導入の予定。</p> <p>②京成バスは一部導入済み。平和交通は音声で案内しつつ、順次導入してゆく。</p>
	施設・設備	<p>①バス停標識について、市と共に街の掲示版を兼ねた構造への改造を行うこと。</p> <p>②ベンチ、日除け・雨除けの設置が物理的、技術的、制度的に可能な停留所において、それらを設置すること。</p> <p>③内照式のバス停標識を導入すること。また、接近表示等の次世代の停留所設備の導入を検討すること。</p> <p>④破損した表示板については、速やかに修理すること。</p> <p>⑤事業者により異なっている表示方法を統一すること。(マリルート)</p>	<p>②広告付きの、上屋、風防、ベンチがセットになったバス停を導入することができる。千葉市内の18箇所に設置済みで、ベイタウンでも賛同が得られれば導入したい。</p> <p>⑤表示様式が異なる点は今後見直す。</p>
	駅広での鉄道との乗り換え	<p>①海浜幕張駅から駅広に出たところにバスに関する総合案内を設置すること。(京成バスの案内のみ設置されているが、長距離バス等も含む総合案内を見やすく設置)</p> <p>②バス停上屋を市と共に改善すること。</p> <p>③乗り場へのアクセスの安全確保策を市と共に検討すること。</p>	<p>①駅前広場の設備は千葉市の所管事項なので、今後、千葉市に働きかける。</p> <p>②現在行っている工事は現況復旧工事で、制度上これまで以上のものでできない。千葉市内の駅前広場のバス停上屋は市が整備しており、今後、市に要望していく。</p>
ソフト面	新設の可否	JR総武線の駅(幕張本郷、幕張、新検見川)とベイタウンを結ぶ路線を開設すること。	京成幕張駅とベイタウンを結ぶ路線の開設を検討する。また、幕張本郷駅とベイタウン間の乗り継ぎ割り引きを検討する。
	現行ルートの適切性	タウンルート・マリルートを駅南口高架下発着とすることについて検討すること。(北口周辺の混雑地帯を通らないルートにする。)	南に向かう系統なので、南口発着は望ましいが、時間調整のための待機スペースが必要。また、バス停と横断歩道との距離が問題となる可能性がある。今後千葉市、警察等と調整する。

分類	視点	要望	回答
ソフト面	ルート 停留所位置	<p>①海浜幕張駅南口停留所を高架下に移設すること。(駅に、より近くなることに加え、雨に濡れない。横断歩道の歩行者や駐輪場利用者との錯綜のおそれはある。)</p> <p>②メッセ大通りの公園西の街のバス停の位置に起因する問題を警察、市と共に解決すること。(追い越しができないこともあり、バスが停車すると渋滞することが多い。)</p> <p>③空港バスの停留所をベイタウン中心部(コア付近、マリンデッキ下など)に増設すること。</p>	<p>①許認可をとれば、移設するのは容易である。</p> <p>②バス停としてのニーズはある。バスベイ(歩道の切り込み)を設置すればよいが、市の所管となる。が必要。実施に当たっては行政との調整が必要である。</p> <p>③前向きに検討する。</p>
ソフト面	運航時間帯・本数	<p>①早朝及び深夜の増便を行うこと。</p> <p>②6時台と20時台のダイヤを改善すること。(例えば、駅発20時51分と21時14分の間隔が空きすぎ。)</p>	<p>①②運行本数は増やさず、より適切なダイヤに改善していく。問題点や改善策について具体的な提案をいただけるとありがたい。</p>
	ダイヤ 鉄道や他のバスとの接続	<p>①列車との接続の良くない一部の便について、列車到着時刻に合わせて発車するよう改善すること。(駅からベイタウンまでは徒歩10～20分程度であり、電車到着後すぐに発車しないならば多くの人は歩いて帰宅する。バス会社からすれば、みすみす客を逃している。)</p> <p>②臨機応変な発車時刻の変更(深夜便など、バスの本数の少ない時間帯において、京葉線が遅延した場合に列車到着に合わせてバスを発車させるなど、運転手が臨機応変に発車時刻を変更できるようにすること。)</p> <p>③始発、終電に接続する便を設定すること。</p>	同上
	平休日の違い	<p>休日の増便を行うこと。また、平日のみ運行となっている稲毛海岸駅行きのバスについては、土日祝祭日も運行すること。</p>	<p>土休日の乗客数は平日の5割にもかかわらず、平日の7割の本数を運行しており、現状維持としたい。</p>
ソフト面	料金 均一料金制、一回券、定期券、回数券、子供・大人料金、行政補助	<p>①東京都のシルバーパスに類する制度の導入を県、市と共に図ること。(行政が主体的に考えるべきことかもしれないが、高齢者が気軽に出かけることができ、地域の活性化にも寄与する。)</p> <p>②料金改定の際は、ホームページその他で周知徹底すること。</p> <p>③乗り継ぎ割引を導入すること。</p>	<p>①バス会社が独自に高齢者割引を行っている。東京のシルバーパスは都からの補助金で運営しており、千葉においても同様の行政補助がないと、現行以上の割引は難しい。</p> <p>②早めに周知するようにする。</p> <p>③幕張本郷、ベイタウン間で導入する。</p>
ソフト面	運転技術 定時制、安全性、スムーズさ	<p>①安全性は無論のこと、それに加え定時性を一層重視すること。(工夫を凝らしテキパキと走らせる乗務員がいる一方で、平然と遅れてくる乗務員がいる。多くの乗客は、ねらった電車に乗るためにそのバスを利用しているということを十分意識し、定時制の確保に努めること。)</p> <p>②早発しないこと。</p> <p>③やむなく欠便となる時は、利用者に理由を説明すること。</p>	<p>①安全性と定時制が両立するよう乗務員を指導していく。</p> <p>②早発はしない。</p> <p>③2社が交互に運行しているため、問題が発生しても情報の伝達が不十分だった。今後連絡体制を強化する。</p>

分類	視点	要望	回答
	案内	①乗務員の案内は、はっきりと聞き取りやすく行うよう指導すること。また、聞き取りにくい自動音声案内を改善すること。 ②停留所での運行状況(到着時間等)表示の導入を検討すること。 ③駅ターミナルでの乗り場の案内を改良すること。 ④時刻表等の情報を時々紙ベースでも配布すること。	①個人差がどうしても出るが、徹底していく。 ②バスロケーションシステムの導入を検討する。まずは携帯から運行情報を取れるようにする。 ③(前述) ④紙ベースでも配布するようにする。
	その他サービス	①始点のバス停において、悪天候時等には早期配車すること。(駅広のバス停は、スペースが狭く、屋根も小さいことなどから、雨天時等のバス待ちが不快である。悪天候時や夏冬には早目に配車し、乗車させること。) ②夏ダイヤの導入について検討すること。 ③料金支払い時の残額不足等に起因する遅延の防止を図ること。 ④定期的に意見交換会に参加すること。	①駅出発の3分前着車を駅広工事終了後から行う。 ②夏ダイヤの導入は今夏の社会情勢を見極め可否の検討をする。 ③安全確保上、現状どおり処理後の発車としたい。残額不足とならないよう利用者側にもお願いしたい。 ④了解。